

# 平成26年度 病虫害発生予察注意報第3号

平成26年10月3日  
静岡県病虫害防除所長

病虫害名：果樹カメムシ類（ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ）

対象作物：かんきつ、かき、キウイフルーツ等

## 1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：県内全域
- (2) 発生が予想される時期：10月
- (3) 発生程度：多い
- (4) 防除時期：10月

## 2 注意報発表の根拠

- (1) 8月以降の新成虫の発生量が多く、9月第1～4半旬のフェロモントラップ（県内6地点：沼津市、静岡市2地点、磐田市、浜松市2地点）における誘殺数の平均は、ツヤアオカメムシが130.8頭（平年11.6頭）、チャバネアオカメムシが167.5頭（平年43.8頭）（表1）、予察灯（県内4地点：静岡市、磐田市2地点、浜松市）における誘殺数の平均は、ツヤアオカメムシが711.3頭（平年87.7頭）、チャバネアオカメムシが483.3頭（平年189.9頭）であった（表2）。
- (2) 9月のかき園地における巡回調査では、カメムシによる吸汁被害果率は5.7%（平年0.6%）と平年よりも多かった。

## 3 防除方法

- (1) カメムシ類の飛来に注意し、ほ場で発生を確認したら直ちに薬剤防除を行う。成虫の移動範囲は広いので、地域での一斉防除が効果的である。スギ、ヒノキ林の隣接地域（特に中山間地）や台風通過後の園地では急激に発生が増加する場合があるので特に注意する。
- (2) 農薬による防除については、病虫害防除所ホームページ(<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>)に掲載している病虫害発生予察注意報を参照する。
- (3) 今後の発生状況については、病虫害防除所ホームページで提供している予察灯・フェロモントラップへの誘殺消長を参考にする。
- (4) 不明な点については、病虫害防除所、農林技術研究所果樹研究センター、または最寄りの農林事務所、農協等に問い合わせる。

表1 フェロモントラップによる果樹カメムシ類の誘殺数（9月第1～4半旬の合計）

項目	沼津市	静岡市1	静岡市2	磐田市1	浜松市1	浜松市2	平均
ツヤアオカメムシ	279	33	2	375	15	81	130.8
平年値	1.3	13.3	1.7	9.2	0.8	43.3	11.6
チャバネアオカメムシ	676	120	0	10	3	196	167.5
平年値	21.8	132.1	7.0	8.7	10.6	82.4	43.8

表2 予察灯による果樹カメムシ類の誘殺数（9月第1～4半旬の合計）

項目	静岡市2	磐田市1	磐田市2	浜松市3	平均
ツヤアオカメムシ	9	1416	1303	117	711.3
平年値	2.1	217.3	96.0	35.4	87.7
チャバネアオカメムシ	0	100	1591	242	483.3
平年値	4.9	62.6	309.8	382.5	189.9

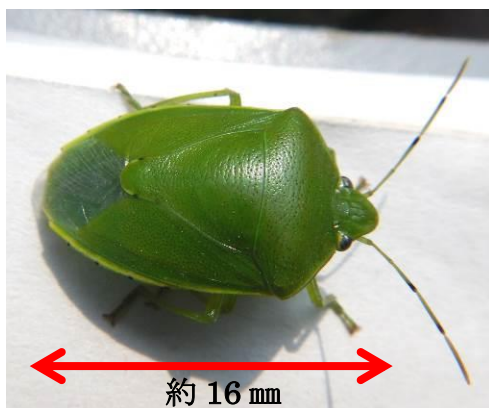


図1 ツヤアオカメムシ成虫



図2 チャバネアオカメムシ成虫



図3 カメムシの吸汁により  
変色したみかん



図4 カメムシの吸汁により  
陥没したかき

問い合わせ先：静岡県病害虫防除所（TEL：0538-36-1543）

カメムシ類に登録のある薬剤

(「平成26年度 農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準」(ホームページ: <http://www.s-boujo.jp/>)より抜粋)

作物名称	かんきつ					
商品名	毒性	魚毒性	希釈倍数・使用量	時期	回数	系統名
ダントツ水溶剤	普	A	2000~4000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
アルバリン顆粒水溶剤	普	A	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
スタークル顆粒水溶剤	普	A	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
テルスター水和剤	普	C	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	ピレスロイド系殺虫剤
アグロスリン乳剤	劇	C	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	ピレスロイド系殺虫剤
ロディー乳剤	劇	C	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	ピレスロイド系殺虫剤
アドマイヤーフロアブル	劇	A	2000~5000倍	収穫14日前まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
アクトラ顆粒水溶剤	普	A	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤

作物名称	かき					
商品名	毒性	魚毒性	希釈倍数・使用量	時期	回数	系統名
アルバリン顆粒水溶剤	普	A	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
スタークル顆粒水溶剤	普	A	2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
アグロスリン水和剤	劇	C	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	ピレスロイド系殺虫剤
アクトラ顆粒水溶剤	普	A	2000倍	収穫3日前まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
アドマイヤー水和剤	劇	A	1000倍	収穫7日前まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
キラップフロアブル	普	A	2000倍	収穫7日前まで	2回以内	フェニルピラゾール系殺虫剤
ダントツ水溶剤	普	A	2000~4000倍	収穫7日前まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
ロディー水和剤	劇	C	1500倍	収穫7日前まで	3回以内	ピレスロイド系殺虫剤
アディオン乳剤	普	C	2000~3000倍	収穫7日前まで	5回以内	ピレスロイド系殺虫剤

作物名称	キウイフルーツ					
商品名	毒性	魚毒性	希釈倍数・使用量	時期	回数	系統名
アドマイヤーフロアブル	劇	A	2000倍	収穫前日まで	2回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
アルバリン顆粒水溶剤	普	A	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
スタークル顆粒水溶剤	普	A	1000~2000倍	収穫前日まで	3回以内	ネオニコチノイド系殺虫剤
アディオン乳剤	普	C	2000倍	収穫7日前まで	5回以内	ピレスロイド系殺虫剤

※農薬の使用に当たっては、必ずラベルで確認してください。